

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 共英産業株式会社様 厚木工場	階数	地上2F
建設地	厚木市森の里東土地区画整理事業施工区域内4街区符号1、4街区符号2-1~2-28	構造	S造
用途地域	準工業地域・防火指定なし	平均居住人員	59人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年11月 予定	評価の実施日	2019年10月1日
敷地面積	10,604 m ²	作成者	大和ハウス工業(株)厚木支社 建築一級建築士事務所
建築面積	5,708 m ²	確認日	2019年11月1日
延床面積	5,947 m ²	確認者	大和ハウス工業(株)厚木支社 建築一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 74%

③ 上記+②以外のオンサイト手法: 71%

④ 上記+オフサイト手法: 71%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
総合 太陽光発電設備を設置し、建物の一次エネルギー消費量の削減に配慮した。		
Q1 室内環境 開閉可能な窓より自然換気を取り入れ、室内環境に配慮した。	Q2 サービス性能 更新間隔の長い建材の使用により、建物の維持管理に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー 必要部分に断熱材を設け、建物の熱負荷抑制に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 発泡系断熱材は不使用	LR3 敷地外環境

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される